

海上安全セミナーを開催

当協会は3月28日、海運ビルにおいて「海上安全セミナー」を開催し、当協会会員をはじめ、関係省庁や海事関係団体・企業など約110名の参加を得た。

セミナーでは、当協会理事・海上安全委員長の當舎裕己 飯野海運社長による開会挨拶に続き、ヒューマンエラー対策に関する以下の2つの講演が行われた。

また、セミナー終了後には、昨年度に引き続き情報交換を目的としたレセプションを開催した。

「ヒューマンエラーの理論と対策」 [\[講演資料\]](#)

中田 亨 氏（産業技術総合研究所 人工知能研究センター 博士（工学））

職場の事故やトラブルの多くに人間のミス、すなわちヒューマンエラーが介在しているが、ミスを防ぐには小手先の改良ではダメで、理論的かつ体系的な取り組みが必要である。講演では「小さなミスを大きな事故につなげない」、「チェックをまっとうなやり方でやる」、「場所と節目で仕事の要点を押さえる」、「使えるマニュアルにする」、「無茶ぶりでリスクを聞き出す」といった事務対策の基本について、事例を挙げつつ説明がなされた。

「航空・鉄道事故とヒューマンエラー」～事例に学ぶヒューマンエラーとその対策～ [\[講演資料\]](#)

垣本 由紀子 氏（日本ヒューマンファクター研究所 顧問（安全人間工学担当））

2000年代に発生した公共交通事故の中から特に多くの被害者を出したJALニアミス事故（2001. 1.31）とJR西日本福知山線脱線事故（2005. 4.25）を対象として、それぞれの発生の機序をたどり、きっかけとなったヒューマンエラーへの対策・フォローについて、再発防止の観点から説明がなされた。



中田氏



垣本氏